

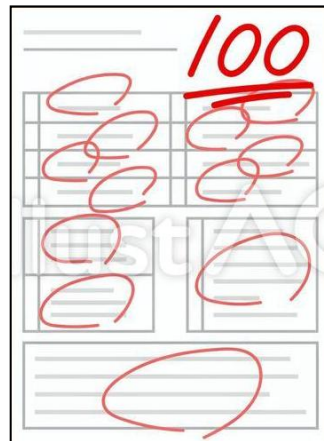


合格答案への道

いよいよ私立一般入試日程が近づいてきました。それぞれの志望校ごとに入学試験日程や教科、面接の有無や形態が違いますので、間違いのないように、しっかり確認してください。

みんなが全力をぶつける入試。その全力が常に 100% の実力であることを願っています。それが最大の目標であるはず。しかし…一生懸命に考えた解答に、思わぬミスがあったりしては、せっかくの実力が何にもなりません。

そこで…入試に際しての注意点を確認してみましょう。



1. 試験場で座席についたら、心を落ち着かせる努力をする

- ・受験票・筆記用具を机の上に置き、深呼吸を 3～4 回
- ・机や椅子の状態を調べてみよう

2. 答案が配られたら、まず『受験番号と氏名』を書くこと

- ・自分が書ける一番ていねいな字で書こう。
- ・『受験番号が試験開始の第一歩である』

3. 答案を見たらボーッとなるのは、珍しいことではない

- ・みんな必ず経験すること。ただ、その状態からどれだけ早く抜け出せるかが大切
- ・何事もはじめが肝心。用紙の最初に書いてある『注意事項』を何回か読んでみると、次第に気分は落ち着くもの

4. 最初に、問題全体にざっと目を通してみること

- ・『どの問題からやればよいか』『どの順序でやるか』『どの問題にどれくらいの時間をかけるか』などを考えて、だいたいの配分をする。
- ・まず、『できると思うもの』からやるのが最善の方法

5. 勘違いはおそろしい…問題文を最後までよく読んで

- ・記号で答えるのを文字で書く
- ・傍線の部分について答えるのに、傍線のないところまで解答してしまう

- ・＋と－を書き間違ってしまう
- ・「最も」正しいものをえらぶのに2つ書いてしまう
- ・選択数が限定されていないのに、1つにきめてしまう

※問いの形式には色々ありますが、『文中の言葉で答えよ』と『文中の言葉を使って答えよ』『文から書き抜きなさい』では答え方が違うなど。細心の注意を！

6．文字はきれいに書くこと。くせ字・うす字などは厳禁!

- ・カタカナの『アとイ』『ソとン』『シとツ』『イとナとヘ』など
- ・数字の『2・3』『1・7・9』『5・6・0』など
- ・アルファベットの『aとd』『bとd』『iとj』など

※高校によっては、「解答欄内に」「はっきり読める楷書で」「大きく濃く」書くことと、注意点を示している場合があります。

7．自分の力を発揮しやすい問題を、一つ一つ片付けて

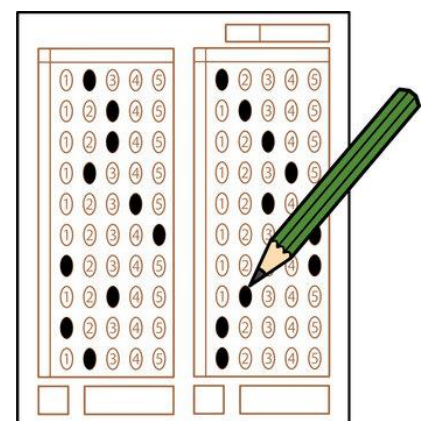
- ・やさしい問題を残してしまったり、難しい問題に時間をかけて、結局、答えが出なかった…では無駄になる
- ・あちら半分、こちらを少し…というやり方は間違いのもと

8．問題文をじっくりよく読むこと

- ・『この問題は何をきいているのか』をよく考えること
- ・『問い』を2回は読んでみるとよい

9．雑な解答は書かないものと同じ

- ・書かれている文字が雑で不鮮明
 - ・直線や円を定規やコンパスを使わないで描く
 - ・消しゴムを使わなかったり、余計なところまで消す
 - ・書いた後で、文章外に文字を補っている
 - ・略字を用いたり、『//』などで省略してある
 - ・解答欄をまたがる \longleftrightarrow で答えを入れ替える
- …などなど、以上の例は、得点にならないものとする



10．単位や必要な言葉を忘れずに

- ・5なのか5 kgなのか5 kmなのか5 mなのか5年なのか…
- ・『何という制度か答えなさい』→『…制度』 など